

ドッジボール競技要綱

【日時】

2025 年 5 月 17 日（土）

5 月 18 日（日）

【会場】

第二体育館

【部門】

男子部門

〈出場基準〉

- ・特になし。

〈登録制限〉

- ・女子の登録可。但し、ハンディキャップはなし。

女子部門

〈出場基準〉

- ・特になし。

〈登録制限〉

- ・男子の登録不可。

※一方の部門の登録チームが極端に少ない場合は部門を統合して 1 部門で行うことがある。

※同一種目内で 1 人が複数のチームに所属することは禁止とする。

※予選以降の交代要員の追加は認めない。

※負けたチームの選手は、他のチームの交代要員として追加できない。

【ルール】

- ・原則として日本ドッジボール協会のドッジボール競技規則に準ずる。
- ・試合規定人数は 1 チーム 8 人だが、試合開始最低人数は 1 チーム 6 人。
- ・交代要員は 8 人まで登録可能である。
- ・試合開始時間から 5 分過ぎても試合開始最低人数に満たない場合は不戦勝とする。
- ・試合開始時に試合規定人数に満たない場合はペナルティを課す。
- ・遅刻は最大 5 分まで許可する。ただし 5 分を超えた場合は、間に合っているチームの勝ちとする。万が一ゲームをする場合、試合結果が大会に影響しないエキシビジョンマッチとなる。
- ・試合開始時の外野の人数は 1 チーム 3 人であり、これを元外野と呼ぶ。試合中、外野は常に 1 チーム 3 人以上存在していなければならない。

第 49 代スポーツ・デー学生委員会

- ・試合前にジャンケンを行い、勝ったチームがコートを選択する。
- ・試合開始はジャンプボールで行う。但し、ジャンパーは内野に限る。
- ・ジャンプボール後 1 プレー目にジャンパーを攻撃してはならない。

ペナルティ

- ・試合開始後に出場人数の増加を禁止する。

アウト・セーフ

- ・相手のノーバウンドの投球に当たって取れなかった場合はアウトとする。但し、相手の投球したボールが当たっても、味方の内野がそのボールをノーバウンドで取れた場合はセーフとする。
- ・相手の投球したボールがノーバウンドで 1 人以上に当たり、そのボールを味方の内野が取れなかった場合は当たった全選手をアウトとする。
- ・首から上に当たった場合はセーフとする。但し、故意に当たりに行ったと判断できる場合はアウトとする。
- ・ジャンプボール後 1 プレー目にジャンパーが故意にボールに当たりに行ったと判断できる場合はアウトとする。
- ・相手の投球に反則があった場合はセーフとする。

反則

以下の行為が行われた場合は反則となり相手ボールとする。

- ・ボール保持者、投球者がラインを踏む、または相手コートに入る。
- ・15 秒以上ボールを保持する。
- ・審判が危険と判断したプレーをする。
- ・相手チームのコートにあるボールを奪う。
- ・内野に入ろうとする外野への攻撃をする。

ボールの支配権

- ・内外野ともに、ラインを基準に判断する。壁等に当たって跳ね返った場合もこれに準ずる。
- ・パスを連続で行い、明らかに相手への攻撃意思がないと審判が判断した場合は相手ボールとする。（相手の頭上を越える投球や、明らかに相手のいない所にボールを投げた場合は攻撃意思がないと判断する。）
- ・内野間、外野間のボールの受け渡しもパスとみなす。
- ・ライン上でボールの取り合いとなった場合は開始時のジャンプボールでボールを獲得していないチームのボールとする。以降は交互にボール支配権を有する。

内野・外野

- ・外野は相手をアウトにした時のみ内野に入ることができる。
- ・元外野は外野が 4 人以上になる時に内野に戻らなくてはならない。

- ・外野は相手をアウトにした後、速やかに内野に戻らなければその権利は無効となる。
- ・外野が 3 人の時に相手をアウトにした場合、元外野用のビブスを着用し、外野が 4 人以上になった時に内野に戻れる。ただし、外野が 3 人である限りは内野に戻ることはできない。
- ・元外野の人はビブスを着用し、内野に戻る際は審判にビブスを渡さなければならない。その時点で元外野でなくなる。
- ・元外野は試合規定時間に達したとき内野に戻る。（この時、外野の人数が 3 人以下になっても構わない。）
- ・故意にラインを超えることを禁止とする。もし超えた場合は、反則行為があったそのチームの相手側のチームにボールを渡し、ゲームを再開する。

交代

- ・交代要員は外野との交代でのみ出場可。（但し、審判に交代を申し出なければならない。）
- ・元外野と交代する場合はビブスごと交代する。
- ・試合進行の妨げにならない限り、いつでも交代可能。（一度交代して試合から抜けた選手でも同試合で再度交代し試合に参加できる。）

【試合形式】

以下のいずれかの形式で行う。

トーナメント形式

- ・試合規定時間を 10 分とする。
- ・どちらかの内野の人数が 0 人になった時、元外野が外野に残っていても試合を終了とする。
- ・試合規定時間に達した場合は内野の残りの人数で勝敗を決める。
- ・準々決勝までは試合規定時間に達した時点で内野の残りの人数が同数の場合は代表者によるジャンケンで勝敗を決める。
- ・準決勝以降は試合規定時間に達した時点で内野の残りの人数が同数の場合は 5 分間の延長戦を行う。それでも勝敗が決まらない場合は代表者によるジャンケンで勝敗を決める。

リーグ形式

- ・試合規定時間を 10 分とする。
- ・どちらかの内野の人数が 0 人になった時、元外野が外野に残っていても試合を終了とする。
- ・試合規定時間に達した場合は内野の残りの人数で勝敗を決める。
- ・勝利チームに 3 点、同点の場合は両チームに 1 点の勝ち点を与え、勝ち点の多い順に順位を決める。勝ち点と同じ場合は内野の残りの人数差、当該チーム間の勝敗の順に順位を決める。それでも決まらない場合は代表者によるジャンケンで順位を決める。

当日の選手追加

- ・敗退チームの選手を追加する事は不可とする。
- ・同一種目内で複数のチームへの当日選手追加は不可とする。

第 49 代スポーツ・デー学生委員会

- ・一旦削除した選手の再追加は 1 回のみ認める。
- ・追加人数の上限は、最大登録人数の半数（8 人）までとする。

【審判】

スポーツ・デー学生委員会

【注意事項】

- ・ 1 チームの最大登録人数は 16 人。
- ・ 遅刻者は審判に申し出た上で、交代でのみ出場可能である。
- ・ 選手本人が選手登録されていないチームで出場することは禁止とする。
- ・ 不正出場があったチームは失格とする。
- ・ 試合では、スポーツ・デー学生委員会の用意したボール以外の使用は禁止とする。
- ・ 会場内での食事、喫煙は禁止とする。
- ・ 室内用シューズを必ず着用する。
- ・ 審判の指示に従わない場合は何らかの措置をとることがある。
- ・ 基本的にボールの貸し出しはない。それに準じて自身でのボールの持ち込みは許可する。
- ・ 試合の 10 分前までに参加者全員が来た場合のみ、ボールの貸し出しを許可する。ただし、その貸し出しの時間にボールがなくなってしまった場合は、選手・チーム側の責任となる。ただし、直後に試合があるチームを優先する。